



会長 小野寺 伸 浩
幹事 及 川 昭 宏
会報 猪 股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2749回例会 2020. 8. 27 No.7

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・小野寺伸浩会長 野生型ポリオウイルス根絶が、正式に認定される見込みです。残りはアフガニスタンとパキスタンです。引き続きポリオ退治の活動にご協力下さい。
- ・阿部靖公会員 本日はスピーチ担当です。よろしくお祈りします。
- ・布施孝之会員 本日の阿部靖公会員のスピーチに期待します。熱中症に気をつけましょう。
- ・村上武彦会員 阿部靖公会員のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 丸徳の靖公会員は魚河岸の若旦那よろしく活気に漲る阿部家では働き者の婿さんを貰って家内安泰、商売繁盛、ヨイショ、ああ重てえ。
- ・佐藤幸一会員 阿部靖公会員のスピーチに期待いたします。
- ・江川元徳会員 夏は暑いのが当たりまえですが、やはり“熱”過ぎる。皆さん、体調によく注意して毎日健康でありますように。
- ・八谷郁夫会員 阿部靖公会員のスピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 阿部靖公会員の魚の話が聞きたいです。
- ・高田次雄会員 立秋とはいえ依然うだる暑さの毎日ですが、宵の頃になると虫の声がどこからともなく聞こえて来ます。暑さも辛抱時の様です。ご自愛下さい。本日のスピーチ、阿部靖公会員、勉強させて下さい。
- ・菅原文之会員 阿部靖公会員のスピーチを楽しみに。いつも、おいしくマグロありがとう。又、行きまですので宜しく。
- ・伊藤幸子会員 本日のスピーチ楽しみにしています。
- ・關孝会員 8月23日、疫病（新型コロナウイルス）退散を願い、津島神社、羽黒神社に佐沼鹿踊を奉納しました。

- ・及川昭宏幹事以下 本日のスピーチに期待して。
 佐々木崇会員 氏家良典会員 佐竹孝行会員
 佐藤静市会員 遠藤光則会員 猪股育夫会員
 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 布施孝尚会員 山田正会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 岩淵栄市会員
 杉田広仁会員 佐藤早智子会員 及川富男会員
 千葉正宏会員 佐藤哲弥会員 及川長五郎会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 小野寺伸浩会長

お盆も過ぎ、8月の例会も本日が最終となりました。先週は、太田陽平委員長による会員増強フォーラムでした。佐沼RCの将来についての提言や会員から意見を募るなど、大変有意義な例会になったと思います。太田陽平委員長ご苦労様でした。

繰り返しますが、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。改めて「ロータリーの友」8月号を読み返しました。東北地方の地区で会員数がどのよう一年間推移したかが分かるページがありましたので、ご報告します。2520地区については、おおよそクラブ数や会員数は説明できます。では、他の地区はどのような状況なのでしょう？2520地区と同じ様な状況なのでしょう？

東北の地区別会員数・クラブ数一覧表

地区	県名	クラブ数	会員数 (20年5月末)	会員数 (19年5月末)	増減(%)
2830	青森	41	1,160	1,209	95.9
2520	岩手・宮城	78	2,253	2,271	99.2
2530	福島	65	2,321	2,365	98.1
2540	秋田	42	1,157	1,139	101.6
2800	山形	49	1,583	1,608	98.4

ロータリーの友 2020.8号 P47

2020年5月と1年前の2019年5月を比較しています。すると次の事が分かります。

- ・2540地区 秋田は微増ながら会員数は増加
 - ・2530地区 福島は単独県ながら2520地区より会員数が多く、クラブ数も13少ないだけです。
 - ・2520地区 宮城は単純にクラブ数を2で割ると39となり、一番クラブ数の少ない地区となります。
- このようなことから、減るのが当たり前ではなく、仙台・盛岡の周辺で人口が増えているところは、新規に立ち上げて可能ではないかと言えるのではないのでしょうか。同じ東北として、2520地区にも伸びしろはあるかと思えます。ロータリークラブの魅力を地域に発信し、志を同じくする会員を増やしていきたいと思えますので、ご協力よろしくお祈りいたします。

幹事報告 及川昭宏幹事

- ・地区より
 1. 2023~2024年度ガバナー候補者の推薦について
 2. 2020~2021年度RYLA（ロータリー青少年指導者プログラム）中止
- ・川崎大師RCより 会員名簿が届く

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会（伊藤幸子委員長）
薬物乱用防止「ダメ・ゼッタイ」募金、本日で締切ります。ご協力よろしくお祈りいたします。

今週のスピーチ

「市場について」 **阿部靖公会員**

市場と言いますと、浜の方にある石巻、気仙沼、塩釜に市場があります。あと仙台市場というような形があります。仙台市場のようなものを消費地市場と呼びます。浜の方にある水揚げ市場は産地市場と言われております。

消費地市場は、規模の大きな仙台市場等中心的なところは国の機関からのもので中央卸市場という名前になっております。皆さんもご存知だと思いますが、その昔には東北地区に佐沼、古川、岩出山、築館、若柳それぞれの町に市場がありました。現存しているのは仙台中央市場と仙海水産の2つだけです。中央市場として荷受けがございまして。その中央卸市場に関して今回はお話させていただきたいと思えます。

中央卸市場は、市民の食生活に欠かすことの出来ない生鮮食料品等（水産物、野菜、果物、花き、食肉等）を全国各地から集荷し、適正な価格をもって速やかに市民の台所へ送る役割を担う公の施設です。

生鮮食料品等は他の商品と異なり、①生産地と消費地が離れた場所にある。②長期の貯蔵に向かないものが多く、腐敗しやすい。③消費者の購買動向から、迅速な取引が要求される。④需要はほぼ一定しているが、天候・生産・出荷状況によって価格の変動が大きい。⑤流通の両先端には、零細多数の生産者と消費者が存在する。これらのために、流通の円滑さが市民生活に大きく影響するという特殊な事情にあります。そこで地方公共団体が、農林水産大臣の認定を受けた上で、中央卸市場を開設し、管理運営しています。

ここでは、整備された施設、取引機構と法律条例などによる取引ルールによって、①多種多様な品目の豊

富な品揃えを行う集荷機能、②多数の小売業者等への迅速的確な分配を行う分荷機能、③需要と供給を反映した公正な価格の決定を行う価格形成機能、④販売代金の迅速・的確な決済を行う決済機能、⑤需要と供給に係る情報収集・伝達を行う情報伝達機能、⑥災害時にライフラインとしての機能。このような役割を果たすことにより、消費者には安全・安心な生鮮食料品等を適正な価格で供給して市民生活の安定と向上を図り、生産者には継続的で安定的な販売ルートを確保するという重要な役割を果たしています。

仙台市中央卸市場は仙台市が開設者となっており、市場取引業務の許可、指導監督及び施設の維持管理を行っています。

- ・卸売業者（7社）—水産物部2社、青果部2社（本卸） 花き部2社、食肉部1社
- ・仲卸業者（42社）—水産物部24社、青果部12社 花き部6社
- ・売買参加者（930人）—水産物部172人、青果部273人 花き部320人、食肉部165人

その他に関連業者として、運搬業、金融業、物品販売業、飲食店業等補助的な業務を市場内の店舗で営んでおります。

仙台における生鮮食料品市場の歴史は、伊達政宗が仙台開府の時をもって始まりました。人口がだんだんと多くなってきて約52,000人となり、これらの人々の食料を賄うことは緊急を要したと思われれます。城下には御請代町として大町、肴町、立町、南町、荒町、柳町の商人町が形成されました。肴町は鮮魚、塩干物、その他海産物、南町は八百屋物、立町は米穀、荒町は麴の専売を与えられ、その中で肴町は五十集間屋として栄え、仙台開府以来連綿として継続してきた町です。

東七番丁の魚市場は、昭和17年に東洋製罐仙台工場跡に建てられ、統制時代から統制解除までの変遷期を経て昭和35年12月の仙台中央市場に水産物部が入場するまで続きました。

仙台市中央卸市場の建設計画は昭和5年頃から考えられ進められていきましたが事変や戦争のため一時中断しました。戦後、本市の急激な人口増加と非衛生的食品の乱売、民間市場の施設の不備等から再び中央卸市場設置の要望が高まり、開設の緊急性を認め、新たな構想のもとに諸般の検討を加えていたが、昭和22年の仙台市都市計画と相まって、日本国有鉄道が仙台駅から貨物取扱いを分離し、宮城野原旧練兵場に仙台駅貨物駅を設置することとなり、昭和24年6月仙台商工会議所会頭を会長とし民間魚市場、青果市場その他生鮮食料品販売業者の代表者23名をもって中央卸市場建設促進協議会が結成され、同年8月本協議会から食品生活の安定を期せられたという趣旨の陳情及び請願書が市議会に提出され、満場一致で採決された。

昭和35年に完成し、12月1日開設許可、12月4日開場。現在の市場は若林区卸町に建設され、昭和48年11月5日に業務開始。この市場も日本で1~2番位古い建物で、新市場の建設が検討されています。

— 市場の売上等説明がありました。紙面の都合上割愛させていただきます。